

『清く貧しく美しく』 石田 衣良 著 新潮社 (分類:Fイ)

30歳非正規社員の堅志と、28歳パートの日菜子。この冷酷な世界でふたりの幸せだけは永遠と信じていた。だが…。恋愛小説の名手が、現代の切実な恋の行方を描く。『小説新潮』連載を加筆修正し単行本化。



『熱源』 川越 宗一 著 文藝春秋 (分類:Fカ)

樺太で生まれたアイヌ、ヤヨマネクフは故郷を奪われたポーランド人や、若き日の金田一京助と出会い、自らの生きる意味を見出し…。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。アイヌの闘いと冒険を描く傑作巨篇。第162回直木賞候補作。



『首』 北野 武 著 KADOKAWA (分類:Fキ)

羽柴秀吉と千利休に雇われ、謀反人と逃げ延びた敵を探す旅をする曾呂利新左衛門は、信長に反旗を翻し逃走する荒木村重を偶然捕らえた。この首の価値はいかに。曾呂利は村重の身柄を利休に引き渡すが…。著者初の長編歴史小説。



『オカシナ記念病院』 久坂部 羊 著 KADOKAWA (分類:Fク)

離島の医療を学びに「岡品記念病院」にやってきた研修医の新実一良。ところが先輩医師や看護師たちは、患者が求めなければ重症でも治療を施そうともしない。反発心を抱いた一良は…。『小説野性時代』連載に加筆修正。



『風間教場』 長岡 弘樹 著 小学館 (分類:Fナ)

警察学校第百二期短期課程の教官を務める風間公親に、校長の久光が命じたのは、「退校者ゼロ」の模範教場を作ることだった。風間はミッションをクリアできるのか!? 『STORY BOX』掲載を単行本化。



『逢魔が刻(とき) 腕貫探偵リブート』

西澤 保彦 著 実業之日本社 (分類:Fニ)

公務員探偵「腕貫さん」を慕う、美貌の女子大生・ユリエ。同級生の海人から「親族が関わった殺人事件を題材にミステリ小説を書いてみたい」と相談され、ストーリー作りに着手するが…。『Web ジェイ・ノベル』掲載を書籍化。



『ジャパントウン』 バリー・ランセット 著 ホーム社 (分類:933 ラ)

ジャパントウンというショッピングモールで日本人一家が惨殺される事件が発生。現場には、謎の漢字一文字が記された血まみれの紙片が残されており…。日本通の私立探偵ブローディが活躍するハードボイルド・シリーズ第1弾。



『老人初心者の覚悟』 阿川 佐和子 著 中央公論新社 (分類:914 ア)

老人若葉マークの踏んだり蹴ったり…だからなんだ! 「高齢者」の仲間入りをしたアガワが、ときに強気に、ときに弱気に、老化と格闘する日々を綴る。「捨てる女」「比較の力」など全42編を収録。『婦人公論』連載を書籍化。



『寂聴九十七歳の遺言』 瀬戸内 寂聴 著 朝日新聞出版 (分類:914 セ)

愛する人との別れ、誰も手を差し伸べられない孤独、突然襲ってくる理不尽な不幸、そして老いと死。人生の最後にどう救われるか。生きる幸せと死ぬ喜びを語る。2019年4月のインタビューを基に新書化。



『生きてく工夫』 南 伸坊 著 春陽堂書店 (分類:914 ミ)

できればたのしく、のんびりいきたいー。骨粗鬆症、めまい、狭心症。高齢になって起こりがちな症状に、びっくりしたり、あわてたりした、著者のちょっと笑える「どたばた」報告。『きょうの健康』連載に加筆修正し単行本化。



『毎朝ちがう風景があった』 椎名 誠 著 新日本出版社 (分類:915 シ)

こころ優しきバリ島、メコン川の水汲み娘、トルコの田舎道…。“シーナの眼”が写した、地球の息吹、人々の暮らし、生命の輝き。作家デビュー40周年の年を締め括るカラーフォトエッセイ。『夕刊フジ』連載を加筆し単行本化。



『いつだって読むのは目の前の一冊なのだ』

池澤 夏樹 著 作品社 (分類:019 イ)

辣腕の書評家にして口達者な本のセールスマン・池澤夏樹が広大な読書の世界へ分け入り、2003年～2019年という時代の大きな変化の中で選び抜いた444冊を紹介。『週刊文春』掲載「私の読書日記」を単行本化。



『身近な「くすり」歳時記』 鈴木 昶 著 東京書籍 (分類:499 ス)

屠蘇と七草、桜と月桂樹、紫蘇と薄荷、生姜と茗荷、柚子と南瓜…。古来から使われてきた身近な「くすり」である生薬・漢方薬を、12カ月の月別にあげ、行事や気候、文化・風習とともに歳時記として語る。



『藤沢周平の読書遍歴』 鯨井 佑士 著 朝日出版社 (分類:910 フ)

「活字で印刷されたものを手あたり次第に読んでいた」という藤沢周平。外国文学研究者の目で少年時代の読書から、直木賞受賞に至るまでの藤沢の読書遍歴をたどり、時代小説作家が形成される過程を明らかにする。



『誰も見ていない書斎の松本清張』

櫻井 秀勲 著 きずな出版 (分類:910 マ)

芥川賞受賞直後に手紙を送り、初の担当編集者となった著者は、最初期の松本清張に何を感じたのか。二人三脚で作品を生み出してきた編集者が今だからこそ語れる「作家」「人間」松本清張のリアル。年表、小説作品リスト付き。



新しく入った 児童図書・YA (1/12) 予約受付いたします！

『ねこなんていなきゃよかった』

村上 しいこ 作／ささめや ゆき 絵 童心社 (分類:Eサ)
じゃれたり、甘えたり、いたずらしたり。いつも隣にいてくれた、ねこのももちゃん。もう天国へ行っちゃったけれど、家族みんなの胸の中で、その姿は生き生きと輝いて…。いのちの愛おしさ、あたたかさが伝わってくる絵本。(小学校低学年～)



『ゆきのけっしょう』 武田 康男 監修・写真 岩崎書店 (分類:Eタ)

ゆきのけっしょうのあかちゃんがうまれて、大きくなって、形をかえて、空からおちてくる。はっぱのように、ひらひら、くるくる…。ひとつとしておなじ形がない、ふしぎで、きれいなゆきのけっしょうの写真絵本。(幼児～)



『魔法のたいこと金の針』 茂市 久美子著 あかね書房 (分類:913 モ)

町はずれにある平井洋裁店にやってきたのは、鬼の子。穴をあけてしまったたいこを直してほしいと言います。平井さんは断ろうとしますが…。金の針がつむぐ、ふしぎな物語。(小学校高学年～)



『きれいずきのマグスおばさん』

イーディス・サッチャー・ハード ぶん 大日本図書 (分類:933 ハ)
マグスおばさんは、スージーと動物園に出かけるというのに、家の中をあちこちきれいにし始めました。お皿を洗って、モップがけをして、犬まで洗い出して…!? スージーは動物園に行けるのでしょうか？ (小学校低学年～)



『への本 おなら大百科』 オナラファクトリー 著 ポプラ社 (分類:491 へ)

おならはなぜくさい？にぎりっぺの昔話がある!? へがひっこしをする!? おならのヒミツや、へこきばなし、「へ」のつく言葉とことわざを、イラストとともに紹介します。(小学校中学年～)

